

## 文献

- Drakulovic, M., Torres, A., Bauer TT., Nicolas, J., Nogu  , S., & Ferrer, M. (1999).  
Supine body position as a risk factor for nosocomial pneumonia in mechanically  
ventilated patients: A randomised trial. The Lancet British Edition, 354(9193),  
1851-1858.
- 藤島一郎(2011). 口から食べる嚥下障害 Q&A 第4版. 中央法規. 102- 105.
- 平田雅子, 松木光子(1990). 改訂 看護技術の物理学的考察. メヂカルフレンド社. 143-  
150.
- 飯田紀代子(2008). 集中治療室看護師が行う体位角度設定において指示角度との誤差を少  
なくするための実践 実測角度を伝えることによる変化. 日本クリティカルケア看護  
学会誌, 4(2) , 60- 64.
- 厚生労働省(2012). 平成 24 年(2012)人口動態統計の年間推計  
<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/suikei12/dl/gaiyou.pdf>  
[2013/01/28]
- McClave, S. A., Martindale, R. G., Vanek, V. W., McCarthy, M., et al. (2009).  
Guidelines for the provision and assessment of nutrition support therapy in the  
adult critically ill patient: Society of critical care medicine (SCCM) and american  
society for parenteral and enteral nutrition (A.S.P.E.N.). JPEN. Journal of  
Parenteral and Enteral Nutrition, 33(3), 277- 316.
- van Nieuwenhoven, C.A., Vandenbroucke-Grauls, C., van Tiel, F. H., et al. (2006).  
Feasibility and effects of the semirecumbent position to prevent  
ventilator-associated pneumonia: A randomized study. Crit Care Med, 34(2),  
396- 402.
- 大久保暢子, 牛山杏子, 鈴木恵理, 佐竹澄子, 小板橋喜久代(2011). 看護における「ポジシ  
ョニング」の定義について. 日本看護技術学会誌 , 10(1), 121- 130.

- 久保田富夫, 國澤尚子, 村山陵子, 大嶋伸雄, 岡野秀鑑, 岡本順子 (2001). 健康成人男性における睡眠姿勢特性. 生体材料工学研究所年報, 35, 35- 41.
- 久下沼由希, 陰山淑江, 大塚将秀(2003). 感覚に頼ったベッド挙上には誤差がある. 日本集中治療医学会雑誌, 11(1), 47- 48.
- 熊井圭太, 野田さおり, 河野光仁, 石川淳, 栗井一哉(2008). 角度に対する認識の検討ー正確かつ安全なベッドアップ角度を守るためにー. 共済医報, 57. 92
- 日本静脈経腸栄養学会(2011). 日本静脈経腸栄養学会静脈経腸栄養ハンドブック. 南江堂. 168- 175.
- 日本静脈栄養学会編集(2006). 静脈経腸栄養ガイドラインー静脈・経腸栄養を適正に実施するためのガイドラインー第2版. 南江堂. 9-11.
- 真井睦子, 児玉佳之(2010). 「栄養剤投与時のトラブルを防ぐ」. 岡田晋編. 病院から在宅まで PEG(ペグ)「胃瘻」ケアの最新技術. 照林社. 74.
- 佐藤可奈, 小泉仁子, 二宮彩子, 増田敦子(2004). 身体屈曲基点の「ずれ」がギヤッチアップ時の体圧と身体位置の移動に与える影響. 看護技術, 50(1), 60- 64.
- 澤倉佐知子(2000). 経管栄養を行っている患者の褥瘡予防と対策 エアマットレスを使用している4症例の分析から. 難病と在宅ケア, 6(7), 36- 40.
- 篠原幸人, 小川彰, 鈴木則宏, 片山泰明, 鈴木彰男(2009). 脳卒中治療ガイドライン 2009. <http://www.jsts.gr.jp/jss08.html>[2011-12-05]
- 白川 修一郎, 角園 敏洋, 阿住 一雄(1978). 正常睡眠における体動について-その定量的解析. 臨床脳波, 20(6), 386- 393.
- 須釜淳子, 真田弘美, 稲垣美智子他(1995). エアマットレス内圧の違いによる5つの体位における接触圧の比較. 金沢大学医療技術短期大学部紀要, 19, 83- 88.
- 田中靖子, 武田弘美, 那須則子, 大野かおり, 平田雅子(2002). 褥瘡の発生予防と治療に関する研究 実験編. 看護技術, 48(14), 1714- 1722.
- 瀧昌也, 八代浩, 楠本順子, 寺西利生(2005). 関節角度の違いが体圧に及ぼす影響. 日本褥瘡学会誌, 7(2), 236- 241.

立花隆夫, 青木和恵, 大浦紀彦, 上出良一(2009). 日本褥瘡学会で使用する用語の定義・解説 用語集検討委員会報告(3). 日本褥瘡学会誌, 11(4), 554- 556.